

公 表

第53回技能五輪全国大会「造園」職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

1 競技時間

標準時間	10 時間
打切り時間	10 時間 30分

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (4) 使用工具等は、各自必要と思われるものを使用してよい。ただし原則として電動工具の使用はできない。また、あらかじめ印をした用具などは使用を禁止する。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずる事がある。
- (7) 指定された範囲内で、安全に配慮して作業を行うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、保護帽を着用すること。なお、保護メガネを必要とする作業においては着用すること。
- (9) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (10) 競技中は携帯電話（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (11) 競技中は課題と図面以外の参照を禁止とする。
- (12) 課題と図面にメモ書きを入れることは禁止とする。
- (13) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3 仕様

3-1 敷石

敷石用石材を使用し、図面のとおりに施工する。

3-2 石積み

景石2石を所定の位置に据えつけ、石積用石材を使用し図面のように行石積みを行う。

3-3 レンガ・小舗石敷設

レンガ及び小舗石を使用し、図面のように行石ぎめで敷設する。

3-4 塀

木材などを使用し、詳細図のとおり施工する。

3-5 飛石

支給された石材（石積用石材から選ぶ）を使用し、図面のように行施工する。1石でなく複数の石を組み合わせても良い。

3-6 石張り（乱張り）

石張り用石材を使用し、図面のように行仕上げる。砂目地とする。

3-7 飾り鉢

支給されたモミジと下草・草花を使い植栽し、鉢を図面のように行配置する。台石は、石積用の石材から選んで据えること（複数の石を組み合わせても良い）。

3-8 植栽

高木及び中木は、図面のようになるよう土ぎめで植栽する。低木は石積みの背後に修景を考慮し植栽する。必要と思われる剪定はしてもよい。

3-9 草花植栽

支給された下草・草花を、指定された区画に修景を考慮し植栽する。

3-10 芝の植付け

目地なし、目土なしで、図面のように行施工する。

3-11 地均し・整地

土が余った場合は、区画内で処理すること。

国際大会に準じて、次の2点を実施する。

①モジュール採点を行う。競技1日目（12月5日）の作業終了時までに、仕様3-1敷石～

3-4塀を完成させること。以上の工程を競技1日目（12月5日）に採点する。

②競技当日、課題の一部を変更する。12月5日朝に変更箇所を公表し、変更内容を反映した図面を選手に配布する。

4 支給材料（1組分）

品 名	寸法又は規格 (mm)	数 量	備 考
敷石用石材	600×300×60	2枚	御影石 1面ビシャン 他機械切り
石積用石材	φ100～400 内外	0.5 トン	安山岩（神奈川県真鶴町産）
景石	φ400～600 内外	2個	"
小舡石	90×90×90	30個	
オーストラリアレンガ（2色）	220×109×50	54個	クリーム、茶系 各27個。
飛石	φ100～400 内外	適宜	石積用石材より流用
石張り（乱張り）用石材	600×700×30	2枚	インド砂岩
鉢	φ300～350 内外	1個	
台石	φ100～400 内外	適宜	石積用石材より流用
川砂	20ℓ	2袋	飾り鉢の周囲、 石張り目地用
塀	木材	60×60×2000 15×90×2000	4本 8枚
	唐竹	25本じめ 4節上り 回り 60mm内外	4本
	L型金具	60×60	4個
	ビス	50mmスリムタイプ 38mm	45本 75本
	高木	H 2500	1本
中木	H 1800	1本	
中木	H 1500	1本	
中木 株立ち	H 1200～1500	1本	
低木	H 500～800	10本	
下草・草花		40 ポット	
モミジ	H 400	1本	飾り鉢用
洋芝	3ロール	約 1.5 m ²	
客土		0.2 m ³	

5 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参しても良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用出来ない。
ただし塹施工のビス止めに使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

6 その他の注意事項

- (1) ベニヤ板を1枚支給するので自由に使用して良い。
- (2) 印刷方法等で課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。
- (3) 材料については都合により直前に変更することがある。
- (4) 競技終了後、課題の解体撤去作業を行う。

7 競技日程

12月4日（金）	下見・説明	集合9時30分、	開始10時	終了11時30分
12月5日（土）	競 技	集合7時30分、	開始 8時	終了15時30分
12月6日（日）	競 技	集合7時30分、	開始 8時	標準終了時間11時30分
				打切り時間12時
解体撤去				14時～16時

8 採点項目及び配点

採点項目	配点
作品採点	30点
出来栄え	50点
作業時間採点 経過時間に応じて減点	10点
作業態度採点	
工具の取り扱い	
安全作業	10点
仕様書・図面の理解	
作業現場の清潔さ	